

■建物と機能

図書館長 吉川 宏

■昭和56年度図書館利用統計

■猛読,あるいは妄読

小野 誠二

■エアメール(9) ハーバード・

ビジネス・スクールと

ハーバード・ビーカー

ライブラリー

(米国)(下)大場四千夫

■新着図書案内

■和雑誌贈入バックナンバーのお知らせ

■受贈図書及び雑誌

建物と機能

図書館長 吉川 宏

最近のことだが、東京のある私大の新築されたばかりの図書館を利用する機会があった。地下五階地上七階、壁はサーモンピンクのタイル張りで、金属彫刻を備えついたり壁画を配すなど館内全体を明るい雰囲気にする配慮がなされている。学外者に求められる利用手続もいたって簡単なものであった。雑誌室へ行って、目録カードを調べバックナンバーの保存場所を尋ねると、館員がプラスチック製の入館証を手渡して、地下五階の「保存書庫」へ通じるエレベーターのところまで案内してくれた。あとは本当に出入り自由に振舞うことができた。

図書館のあり方について考えると、図書館というものが書庫と本を貸す人の集りという従来の姿から大きく変貌しつつあるように思える。最近の図書館は資料提供という機能を第一に考えて作られるようになっているといえよう。本学の図書館増築にもそのような考えを取入れたいが、実際の有様をきめるのは建物の構造であるよりは、使う人間の方だということも忘れてはならないだろう。右記の図書館を訪れた次の日、都内の別の大学で雑誌論文のコピーを乞うたら、ただ借用願いなるものを受取るだけのために、別の建物の中にある別の係の所まで行くことを求められた。

(よしかわ・ひろし 法学部教授)

昭和56年度図書館利用統計

1. 昭和56年度利用状況

年間開館日数	奉仕対象者		
	学	生	教員職員
272	6,685 (1部 4,888 2部 1,797)		117 78

3. 学年別学生貸出と登録率

	貸出冊数	登録率	
		I部	II部
1年	1,348	9%	6%
2年	997	20	13
3年	3,195	32	17
4年	2,962	54	26
計	8,502	—	—

	入館者総数	館内閲覧				館外貸出			
		閲覧者数	うち学生	閲覧冊数	うち学生	貸出者数	うち学生	貸出冊数	うち学生
本館	112,543	11,360	11,060	12,492	12,222	10,086	6,584	18,234	8,502
工学部図書室	8,631					1,920	1,411	2,948	1,796
計	121,174					12,006	7,995	21,182	10,298

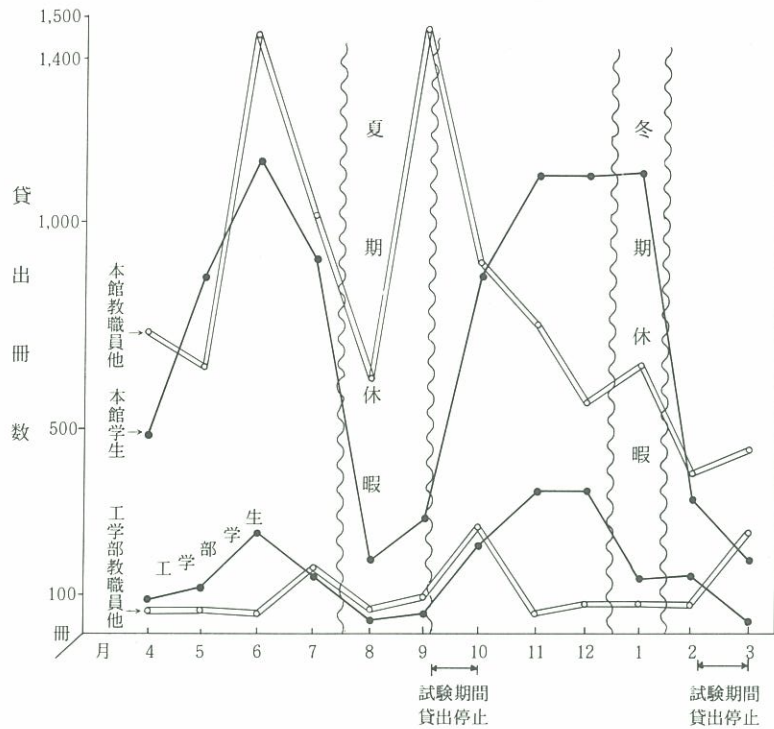
2. 貸出冊数の増加率 — 過去7ヶ年の部門別推移 — (本館)

部門 所属			総記		哲学		歴史		社会科学		自然科学		工学・工業		
			学生	教員他	学	教	学	教	学	教	学	教	学	教	
増加指数	年度	昭和	50	74	75	283	277	196	223	2,345	2,312	167	309	52	122
			51	113	81	318	228	150	295	1,892	1,592	146	232	70	56
			52	127	96	220	230	142	222	2,079	1,688	211	178	53	59
			53	115	85	168	231	129	206	2,260	1,715	243	182	56	62
			54	165	251	385	353	262	505	3,324	3,422	276	333	110	161
			55	222	340	420	441	388	374	3,622	2,816	236	398	171	151
			56	298	393	628	423	359	593	4,910	3,277	342	606	180	145

部門 所属			産業		芸術		語学		文学		雑誌		本貸出冊数計		
			学生	教員他	学	教	学	教	学	教	学	教	学	教	
増加指数	年度	昭和	50	242	392	56	106	104	114	372	411	163	186	4,054	4,527
			51	322	374	71	152	173	125	428	323	142	831	3,825	4,295
			52	276	271	86	99	93	154	152	384	262	1,173	3,701	4,555
			53	278	260	67	102	115	157	158	460	660	1,474	4,249	4,934
			54	284	597	77	180	177	185	359	571	764	1,776	6,173	8,334
			55	391	381	165	175	155	279	569	820	306	1,759	6,635	7,934
			56	570	375	213	335	188	345	634	723	180	2,517	8,502	9,732

※増加指数は昭和50年度を基準100として表わす。又、工学部図書室の貸出冊数は含まず。

3. 貸出冊数の季節変化



4. 文献複写サービス

学内

電子複写(枚)		マイクロ複写		計
校費	私費	校費	私費	
20,774 (36件)	18,077 (532)	1,130 (2)	386 (4)	40,367 (574)

5. 図書館間相互利用

図書貸借		相互利用業務				所蔵調査	
貸出冊数	借受冊数	受付件数	文献複写			受付件数	依頼件数
			計	内訳			
38	269	126 (1,154枚)	148 (11,168枚)	133 (10,728枚)	15 (440枚)	140	240
			マイクロ フィルム (1,200コマ)	(700コマ)	(500コマ)		

○外国文献複写依頼先

1. University of London.
2. The British Library.
3. Library of Congress.
4. The British Museum.
5. Universite D'AIX-Moreseilie.
6. Greater Boston Chamber.
7. The Hoover Institution.

○依頼（他館より入手）

依頼先 内容	国立国会 会図	道 立 図	国公立大		私立大		専門 機関 他	合 計
			道内	外	道内	外		
			冊	件	枚	件		
図書借受	16	8	218	0	27	0	0	269
文献複写	1	0	38	48	11	33	2	133
所蔵調査	10	0	554	8,815	199	1,181 マイクロ 700 コマ	23	10,782
	47	0	168	15	6	4	0	240

○他館利用希望者

利用先 利用者	国 公立 大	私 立 大	専門 機関 他	合 計
学 生	13	8	0	21
教職員他	15	7	3	25
計	28	15	3	46

○受付（他館へ提供）

提供先 内容		国公立大		私立大		公 共 図 ・ 専 門 機 関 他	合 計
		道内	外	道内	外		
		冊	件	枚	件		
図書貸出	冊	11	0	11	0	6	28
文献複写	件	12	5	98	7	4	126
	枚	110	72	857	163 (北駕20)	52 (北駕文庫 11)	1,254

○学外者の利用

所 属 利用者	国 公立 大	私 立 大	専門 機関 他	合 計
学 生	10	17	0	27
教職員他	12	6	1	19
計	22	23	1	46

猛読、あるいは妄読

小野 誠二

誇るわけではないが、私は子供の頃から比較的読書になじんでいた。とくに六年生のある時期には、「恵まれた家」の子供たちから借りての本で、ほとんど毎日一冊は読んだといつてよい。

中学時代から高校時代にかけて、これも借りてのことであるが、世界文学全集、日本文学全集を読み終えたばかりではなく、トルストイ全集、ドストエフスキー全集、カロッサ全集、ジイド全集、漱石全集、鷗外全集、藤村全集といった具合に、「猛読」をした。ユーゴーの『レ・ミゼラブル』を読むには三ヶ月かかったが、楽しんでページをめくっていた。ロマン・ロランの『カラマーゾフの兄弟』にも二ヶ月ほどかかったが、『ジャン・クリストフ』は毎日心を躍らせながら読んだ。しかしダンテの『神曲』とゲーテの『ファウスト』など

は、さすがに歯が立たず、字数だけを数えるかのように耐えて読んだ。

このような、若すぎでの乱読、猛読は果して良いものかどうか。妄読といったような無駄な労働にすぎないのではないか。江戸時代の儒学者、佐藤一斎は『言志四録』で、少年時代に読んだ本の半分以上も忘れてしまったことを後悔して、「書は妄に読むべからず、必ず択び且熟する所有りて可なり。」と述べている。

私も最近まで、あまり早く「大人の本」を読むのはよくないと思いつけていた。相応の年齢になったら読み返せばよいのに、どうしてもそれができないのである。烈しく読む気概と情熱が失われてしまっているのである。

今では、未消化で結構、エネルギーの充ちている若いうちがむしゃらに読書しておくべきだと思うし、私がそうしたことは間違っていなかったと考えるようになった。

高校一年生の年の暮に、一日いっぱい一俵の餅をつきながら、つぎの餅が蒸けるまでの寸時を惜んでドストエフスキーの『悪霊』を読み継いだことを思うと、なにか胸のうちが切なくなる。

(おの・せいじ 教養部教授)



ハーバード・ビジネス・スクールと

ハーバード・ベイカー・ライブラリー (米国) (下)

大場 四千男

はじめに

すでに前号でハーバード・ビジネス・スクール(HBC)の創立について述べたので、今回はHBCの図書館であると同時に現在経済・経営の分野で最大の図書館でもあるベイカー・ライブラリーの創立を中心に述べてみたい。

しかも、ベイカー・ライブラリーは一橋大学におけるフランクリン文庫を整備するのに協力し、日本と深い関係を古くからもっている。それに、経営学が現在ではハーバード学派を中心に発展する関係から、日本のこれら研究者、学者はハーバード・ベイカー・ライブラリー及びHBCへ一度は足を運ばなければならない。

私もその1人であるが、チャールズ河の岸に美しい白と空色のジョージア風建築様式を形どったベイカー・ライブラリーの中で資料を探索し、一度書庫の中で迷子になったことがある。

その上、ベイカー・ライブラリーは早くから専門図書館の性格を深め、現在、古文書部、稀観書部(クレス・ライブラリー)、会社資料部、金融資料部(アルドリッチ・ライブラリー)、一般書籍部の5部門から成り立っている。北海学園大学の附属図書館は明確な区分はないが、古文書部(北駕文庫)、稀観書部(ゴールド・スミス—クレス・コレクション)^{*}、会社資料部、一般書籍部とはベイカー・ライブラリーと同じ性格を有している。それだけ親密感をベイカー・ライブラリーに抱くことができる。

ベイカー・ライブラリーの創立

ここではベイカー・ライブラリーが5部門から成り立っている事情を考慮し、その部門別について明らかにしていく。

(1) 一般書籍部

1908年にハーバード大学の経済学部から独立したHBCは当初において独立した建物を割当られ、又は、建築されていないことから、ハーバード・ヤードの名建物に分散して講議を行なっていた。したがって、図書館も独自の建物を有せず、

もっぱら大学の中央図書館であるワイドナー・ライブラリー Widner Library のトップ・フロアに間借りしていた。当初の書籍は主に経済学部から移された応用経済、経営学に関するものであった。経営では会計、金融、鉄道に関する本が初期において集められたが、これらは主に教育方法が従来の講議方式から問題発見方式 Problem—Method へ、さらに、ケース・メソッド Case—Method へ変化するのに伴い急速に揃えられたのである。1927年にベイカー・ライブラリーが現在のソーリジャーズ—フィールドの地に建設される頃にはその書籍数は150,000冊を超えていた。

世界最大の銀行に成長しつつあるファスト・ナショナル・バンク・オブ・ニューヨークの頭取ジョージF. ベイカーは5,000,000ドルを寄附してHBCの全校舎、寄宿舎、図書館を設立し、その名を記念するために図書館に彼の名前をつけて、ベイカー・ライブラリーとした。ここに現在のベイカー・ライブラリーが創立されたのである。

1927年に創立されたベイカー・ライブラリーには2つの問題に直面し、その解決を迫られていた。1つはベイカー・ライブラリーの性格とその位置づけの問題である。もう1つは膨張した専門書を新しいものさしで分類し、目録作りをしなければならないという問題である。

前者は3つの図書館を合併し、その総合によって解決しようとした。すなわち、ベイカー・ライブラリーはボストン市ソーリジャーズ・フィールド地区に位置しており、他方、ボストン公共図書館 Boston Public Library は近くのコブレイ・スクエアにある。両者は非常に近いところに重複して同じ書籍を集め、保管している。そこで両者の総合が問題となり、ボストン公共図書館の本をベイカー・ライブラリーに移し、ベイカー・ライブラリーはボストン公共図書館の支部としてボストン市民に公開されることになった。

さらに、HBCとハーバード大学とで話し合いが行なわれ、両者の間で分業体制が確立された。つまり、ベイカー・ライブラリーはハーバード大学での経営図書館に専門化し、大学全体の1部門に

なった。主に、ハーバード大学では経済学に専門化し、相互を補完する体制作りを試みるのである。

最後に、ベイカー・ライブラリーはアメリカ資本主義の発達に関係する産業及び企業の古文書・会計簿を蒐収していた経営史協会 Business Historical Society を図書館活動の1部門に吸収した。ここに、ベイカー・ライブラリーはアメリカで有数の古文書部と経営史研究機関を継承し、発展させることになる。ここに、アメリカ教育界で教育改革と云われるケース・メソッドと経営史協会を基盤にしてベイカー・ライブラリーは単なる参照—読書図書館 Reference—Reading Library から研究図書館へ発展し、その独自性を築くのである。

かくて、ベイカー・ライブラリーはボストン公共図書館の1部、経営史協会、そして、ハーバード大学の1部を総合した専門的な総合大学への発展の足掛かりを得たのである。と同時に、先に述べた如く、総合によって書籍・資料がベイカー・ライブラリーに集中され、新築間もないベイカー・ライブラリーの書庫を埋め尽し、さらに、溢れ始めた。ここに増築の問題と共に、これら書籍・資料を体系的に分類する問題が生じたのである。というのも、当時図書館で採用されていた分類法は(1)デウィ十進法(DDC)、(2)カッターの展開分類法(CDC)、(3)国会議員図書館分類法(LC)等の3通りである。しかし、これら分類法が出来上ったのは経営学が科学として大学及び大学院の教育科目にとり入れられ学門的に確立される以前の時である。このために、ベイカー・ライブラリーはその数十万冊の経営・経済分野の本を従来の分類法では適用できず、独自の分類法を創造しなければならなかった。

そこでベイカー・ライブラリーは、主に国会議員図書館分類法にカッター展開分類法を加えた分類法を開発し、これに基づいて社会科学を経済・経営・行政・法律に主要分類し、列挙式分類を試みた。次いで本は件名毎にアルファベット順に並べられ、小分類にカッター展開分類法を適用された。

独自の再分類と再目録はかなりの経費を必要とされるが、これはスペルマン・ロックフェラー財団からの補助金によって賄われている。

しかし、1930年代の大不況はベイカー・ライブラリーの予算を大幅に縮小させるものとなり、危機的状態に陥いらせた。

総図書館支出	そのうち本への支出
1927—28	110,000 ^{ドル} 18,100 ^{ドル}
1931—32	139,100 11,000
1933—34	105,300 6,700

上記の如く、本への支出は18,000ドルから6,700ドルへと縮小した。当時、ハーバード大学の図書館は2つの基金(1,740,000ドルと2,000,000ドル)

からの収入と大学の図書予算とから維持されていた。そこで、副館長であるA・コールはベイカー・ライブラリーの運営基金の創設を財界・卒業生に呼びかけ、従来の大学院の図書予算からの依存を脱却しようと運動し始めた。ここにベイカー・ライブラリーは財界・卒業生からの富を集中し、独立した財政基盤を方向づけられ、今日の発展を持たらすのである。

(2) 古文書部

すでに述べた如く、古文書部は経営史協会の古文書を引継いで1つの独立部門として組織され、ベイカー・ライブラリーの特徴となっている。

経営史協会は1925年1月18日に設立された。協会長はボストン・グローブ紙の社長C・H・ティラー、副会長はボストン連邦準備銀行理事長F・H・カーチス、会計担当はボストンの信託会社(ステート・ストリート・トラスト)の社長A・フォブス、そして、事務長はマサチューセッツ州立図書館長E・H・レッドストーンである。設立の趣旨はアメリカ資本主義の基礎を築いた産業及び企業の古文書を蒐収し、研究することである。その資料と事務局はHBSに置かれ、ベイカー・ライブラリーの建設とともにこの図書館に吸収され、その1部局となった。

ボストン・ニューヨークの財界人が主要な会員となり、経営史の古文書を集収し始めたことから、これら古文書を利用した経営史研究が盛んになり、一方で専門雑誌「経営史学」Business History Reviewと、他方で経営史研究叢書シリーズとを生み出し、アメリカ経営史研究のメッカとなった。この中から、コール、グラス、ラーソン、ギブス、ハイド、そして、チャンドラーの研究者が簇出している。

経営史協会の設立に導いた理由の1つはすでに1920年代に入るとニューイングランドの綿工業が衰退し、その解散、合併などで昔日の面影を残さなくなり、とりわけ、これら企業の資料の分散と消滅が著るしく、このままではこれら資料を保存することが出来なくなると考えられたからである。このため当初においてはどうしてもニューイングランドの産業及び企業資料が主に集められている。とりわけ、綿工業の創立者といわれるスレイター工場、ボストン製造会社を始めとする莫大な綿工場の会計簿及び議事録が集中的に集められ、保管されている。私もこれら古文書の保管庫に入り、会計簿、議事録を見たが、数の多さには驚いたものである。

古文書には、最初の複式簿記書が保管されている。これは1494年版で、所謂ルーカル・パチョリによって書かれ、アメリカでB・Lの外にコロンビア大学、ニューヨーク公共図書館に所蔵されているにすぎない。さらに、中世においてはイタリア・

フローレンスのメディチ家の古文書が98冊所蔵されている。これはロンドンの商人ゴードン・セルフリッチが2人の子孫（Marquis C. Medici; Marquis Averard de Medici）から直接に購入した1377—1597年の間におけるファミリー・ビジネスの資料である。

この他に、投資銀行家ジェイ・クックの古文書も保管されている。これは北太平洋鉄道Northern Pacific RRの発展と関係している。古文書関係では400,000冊と100万点の記録が保管されている。

(3) アルドリッチ・ライブラリー

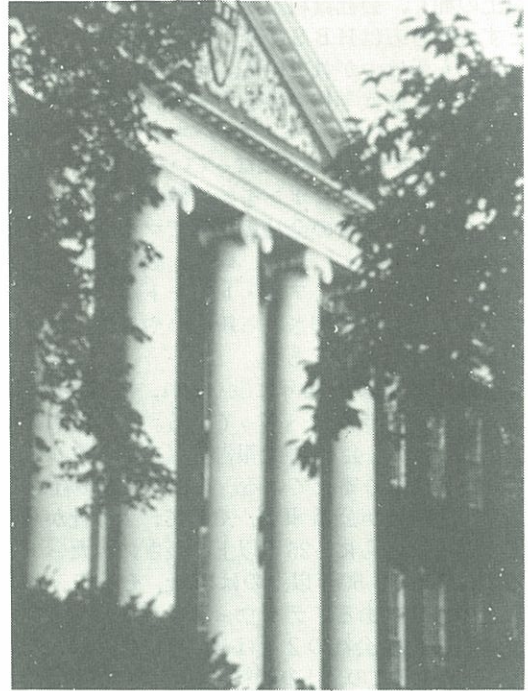
ロード・アイルランドの出身のネルソン・W・アルドリッチは4期上院議員に選出され、この間に上院金融委員会の議長となり、さらに1908年に設立された全国貨幣委員会National Monetary Commissionの委員長にも任命されている。彼は合衆国の関税制度、通貨政策、租税問題に主に没頭し、これらの分野で最も影響を与え、そして、連邦準備銀行制度を創立した父とも呼ばれている。

特に、1907年の金融恐慌はアメリカの繁栄を一挙にどん底に突き落とし、ひいては1929年の大不況と匹敵する規模となった。この結果、1907年の恐慌は1913年に連邦準備制度を発足させ、1929年の大不況は一連の証券・金融改革を断行させた。前者は主にネルソン・アルドリッチが、後者はウィンスロップ・アルドリッチがそれぞれ石油財閥のロックフェラー家との血縁関係を背景に改革の主役となっている。

1907年における恐慌は銀行が各州ごとに分散され、統一した貨幣政策を採ることの出来ない制度的欠陥に由るものであると認識され、この対策として中央集権的な銀行制度の設立がアルドリッチの全国金融委員会の中心問題となった。最初に、クーン・ロップ商会のパートナーであるポール・ワーボウグが理論的に中央集権制度論を唱えていた。これに肉づけしたのがアルドリッチであり、彼は世界中の銀行制度を調査・研究し、その成果を連邦準備法にまとめた。これはウイルソン大統領の時に制定され、連邦準備銀行制度となった。今日における合衆国の近代的銀行制度はアルドリッチによってその基礎を固められたのである。

こうした彼の精力的な調査・研究が主に銀行・通貨・関税・租税に関する資料・文献を莫大な数量にふくらませ、そして、1つの大きなコレクションに帰結させたのである。

彼はファスト・ナショナル・バンクの頭取であるG・F・ベイカーと友人関係を有し、ベイカーが建設している図書館にそのコレクションを寄贈し、研究者、学生の研究を奨励することを希望した。そこで、彼が亡くなると、遺族はその希望を実現すべく約10,000冊に達するコレクションをHBSの学長ドーナムに持ち込んだ。この結果、ア



ルドリッチ・ライブラリーと命名され、ベイカー・ライブラリーの金融専門図書館となった。部屋は息子のウィリアムが設計士である関係から彼によってチューダー朝の様式で建てられている。そして、開館式にはアルドリッチ家の人々とロックフェラー家とが参加している（ジョンD・ロックフェラー、ジュニア）。

(4) 会社資料部

HBSが最も力を注いだのはケース・スターディの教材に会社資料を取り入れ、生きた教材として会社の資料を利用しようとしたところにある。というものが、経営学に関する教科書が新しい学問であるために出版されていず、これらの教科書はどうしても大学で独自に教授及び研究者によって書かれねばならなかった。このために、前述の古文書と会社資料がこれら教科書の資料として提供され、このことから会社資料の集収には最初から力を入れていた。

初代学長であるエドウィンF・ゲイが設立年度の報告書の中で図書館とケース・メソッドとの関係を次の如く述べているのは注目すべきことである。

『今、大学院は会社やビジネスの資料を集め始め、さらに古い会計簿を中心にする古文書をも集めている。これら両者は大学院図書館の中核を形成しつつある。これら会社資料と古文書は研究や教育のための資料として活用されている。これらは、ハーバード大学図書館の所蔵する鉄道に関する資料とともに、新しい問題発見方式の教材にとって有益なものである。』

以上の如く、会社資料をケース・メソッドの教材とするやり方はHBSの経営者教育を特色づけ、今日にも受けつがれている。初代ゲイの会社資料への政策は歴代学長の最も力を入れるところとなり、今日ではハーバード・カンパニー・コレクションとして世界有数のものになっている。私も、フォード、GE^{ゼネラル・エレクトリック}、デュポンを始め数十社のアニュアル・レポートをこの会社資料部でマイクロ・フィルムからコピーし、現在、研究、教材の糧としている。全てのアニュアル・レポートがマイクロ・フィルムとして整理される新しいやり方には深い印象を受けたものである。

会社記録部は1924年に設立され、1927年にベイカー・ライブラリーへ移っている。この時点では約1,000社から会社営業報告書（アニュアル・レポート）を取り寄せている。このうち600社が製造業、250社が公益事業、そして、200社が金融業である。さらに、25年以上の長さにわたっているのは200社、50年以上のは27社、そして、75年以上のは5社ある。デラウェア&ハドソンとレーハイ石炭汽船会社の2社は100年にまたがっている。しかし、この2社の資料は私が調べ方が悪かったのか確認することができなかった。

(5) クレス・ライブラリー

クレス・ライブラリーは世界の3大コレクションの1つである。この他に、コロンビア大学のセリグマン、ロンドン大学のゴールド・スミスがある。しかし、これら3大コレクションは同じ根から分れたものである。すなわち、イギリスのケンブリッジ大学の教授F・S・フォクスウェルが16世紀から19世紀にかけて経済学、金融、租税に関する原典をイギリス中心に集めたのが3つに分離されたのである。

クレス・ライブラリーは16世紀から18世紀にかけての本を中心にしているのに対し、ゴールドスミス・ライブラリーは18世紀から19世紀末にかけての本から成っている。

フォクスウェルは1860年代中頃にケンブリッジのセント・ジョン・カレッジを卒業し、友人ジェボンズ、ティンビーとのつきあいの中で、しだいに本を集め始め、1900年頃に1つのコレクションにまとめ、1900年にロンドンのゴールドスミス社に売却した。これがロンドン大学の手に渡って、ゴールドスミス・ライブラリーとなった。

その後、彼はまた稀覯本を集めたが、1920年頃には財政難に陥った。この時、ハーバード大学経済学部の教授であるA・A・ヤングはロンドン大学の経済学部で教え、当時ロンドン大学にも籍を置いていたフォクスウェル教授と接触し、事情に通じていたので、友人であるベイカー・ライブラリーの館長イートン、学長ドーナムにコレクションについて知らせた。そこで、イートンはロンドンへ行き、交渉を開始したが、1936年にフォクスウェルは亡くなった。

このフォクスウェルの第2のコレクションに注目していたもう1人の人物がいる。ニューヨークに住むクラウドW・クレスである。彼はこのコレクションを購入し、ベイカー・ライブラリーに寄贈した。彼の名前を記念して付けられたのがクレス・ライブラリーである。

3大コレクションの1つを手に入れたベイカー・ライブラリーは世界有数の専門図書館になると同時に、アメリカからヨーロッパへその活動領域を広げ、より一層総合図書館への一步を歩むのである。

(おおば・よしお 経済学部助教授)

※ Goldsmiths'—Kress library of economic literature.

—本館所蔵—

15世紀以来経済史の宝庫として知られる「ゴールドスミス文庫」（ロンドン大学）と「クレス文庫」（ハーバード大学）のマイクロフィルム集。

三万点の資料は各年度ごとに「総記」「農業」「穀物法」「人口」「貿易・産業」「商業」「財政」「交通」「社会」「農奴制」「政治」「社会主義」「その他」の13項目に分類されている。

(昭和52年文部省助成 教員閲覧室に排架。)



新着案内

二 教 養 関 係 二

読書有朋 渡部昇一, 谷沢永一著 大修館 1981
019 W46

岩崎武雄著作集 1~4 新地書房 1981 108 I 96

ヨーロッパにおける人間観の研究 古田光編 未来社
114 F 94

解釈学の課題と展開 解釈学の理論的發展と具体的適用
梅原猛, 竹市明弘編 晃洋書房 1981 116.8 U 66

九鬼周造全集 1, 4~9 岩波書店 1981
121.6 Ku 28

中国哲学の探究 木村英一著 創文社 1981
122 Ki 39

インド思想史 J. ゴンダ著 富山書房 1981
129 G 63

カントの行為の理論 F. カウルパッハ著 明星大学出版
部 1981 134.2 Ka 89

現代文化の哲人カント H. リッケルト著 理想社
134.2 R 36

ヘーゲルの思想と現代 岩崎允胤編 汐文社 1982
134.4 I 96

行動科学序説 方法と体系 犬田充著 税務経理協会
1981 140.18 I 59

発達的人間論 樹から下りたサル の運命 津留宏著 有
斐閣 1981 141 Ts 84

近代日本の倫理想 山田孝雄編 大明堂 1981
150.21 Y 19

考古学のための化学10章 馬淵久夫, 富永健編 東大出
版会 1981 202.5 Ma 12

文明が衰亡するとき 高坂正堯著 新潮社 1981
204 Ko 82

重臣たちの昭和史 上下 勝田龍夫著 文芸春秋 1981
210.7 Sh 95

懐かしの千島 写真集 写真集懐かしの千島編纂委員会
編 国書刊行会 1981 211.9 Sh 13

中世を旅する人びと ヨーロッパ庶民生活点描 阿部謹
也著 平凡社 1981 230.4 A 12

概説ドイツ史 現代ドイツの歴史的理解 望田幸男, 三
宅正樹編 有斐閣 1982 234 Mo 12

人類の知的遺産 16, 26, 34, 58, 61, 64, 67, 78 講
談社 1981 280.8 J 52

河上肇 芸術と人生 杉原四郎, 一海知義著 新評論
1982 289.1 Su 34

ヒトラー 1932~34 上下 ドイツ現代史への証言 四
宮恭二著 日本放送出版協会 1981 289.3 Sh 67

地名関係文献解題事典 鏡味明克, 楠原佑介, 桜井澄夫
編著 同朋舎 1981 291.03 C 45

明治大正昭和世相史 加藤秀俊〔等〕著 追補 社会思
想社 1972 302.1 Ka 86

イラン人の心 岡田恵美子著 日本放送出版協会 1981
302.263 O 38

第三の波 A. トフラー著 日本放送出版協会 1980
304 To 19

ことばの世界 コミュニケーション入門 J. コンドン著
サイマル出版会 1972 361.5 C 86

マスコミが事件をつくる 情報イベントの時代 中野収
早川善治郎編 有斐閣 1981 361.5 N 39

ヘルパー奮戦の記 お年寄りとともに 井上千津子著
ミネルヴァ書房 1981 369.26 I 57

高校教師三十年 青春群像を求めて 宇野一著 日本放
送出版協会 1981 374.3 U 77

大学はバベルの塔か 隅谷三喜男著 東京大学出版会
1981 377 Su 67

大学生のための50章 関根文之助著 実務教育出版
1981 377.9 Se 36

はじめての手話 田上隆司〔等〕著 日本放送出版協会
1981 378.2 Ta 84

学習する女性の時代 神田道子, 女子教育問題研究会編
日本放送出版協会 1981 379 Ka 51

東アジアの食の文化 食の文化シンポジウム '81 石毛
直道編 平凡社 1981 383.8 I 73

故事名言・由来・ことわざ総解説 自由国民社編 同編
者 1981 388.8 J 55

文化とコミュニケーション 構造人類学入門 エドマン
ド・リーチ著 紀伊国屋 1981 389 L 46

科学の社会的機能 J. D. バナール著 勁草書房 1981
404 B 38

科学の散策 R. L. ウェーバー編 紀伊国屋 1981
420.4 W 51

ヒューマニズムとしての狂気 岩井寛著 日本放送出版
協会 1981 493.7 I 93

北海道たべもの歳時記 重森直樹著 マービス 1981
596.04 Sh 28

美学を学ぶ人のために 吉岡健二郎編 世界思想社
1981 701.1 Y 92

ことばと意味 言語の現象学 J. M. エディ著 岩波
1981 801.01 E 22

外国語・外国語教育に関する27年間の雑誌文献目録 昭
和23年~昭和49年 日外アソシエーツ雑誌文献目録編集
部編 日外アソシエーツ 1981 803.1 N 71

文章で伝える技術 読み方・書き方・考え方 猪狩章著
情報センター出版局 1981 816 I 31

直訳という名の誤訳 英語読書作法 東田千秋著 南雲
堂 1981 830.4 H 55

外国語の読みと創造 外山滋比古著 研究社 1981
830.4 To 79

ドイツ語学講話 関口存男著〔復刻版〕三修社 1981
845 Se 27

フランス語のしくみ 第一歩からの道案内 曾我祐典著
白水社 1981 855 So 25

百人一首の秘密 驚異の歌織物 林直道著 青木書店
1981 911.147 H 48

ヨーロッパの斎藤茂吉 藤岡武雄著 有斐閣 1981
911.162 F 65

俳句十二月 草間時彦著 角川書店 1981
911.304 Ku 83

北原白秋 その青春と風土 松永伍一著 日本放送出版
協会 1981 911.5 Ma 83

金子光晴のラブレター 江森陽弘著 ベップ出版 1981
911.56 E 54

小さな貴婦人 吉行理恵著 新潮社 1981
913.6 Y 94

赤まんまの歌 精薄の子と生きた妻・母・女の38年 佐
瀬恭子著 主婦と生活社 1981 915.9 Sa 81

アイヌ関係著作集 1 アイヌ伝説集 更科源蔵著 み
やま書房 1981 919.9 Sa 69

女帝エカテリーナ アンリ・トロワイヤ著 中央公論社

＝ 経 済 関 係 ＝

- 都市の経済分析 山田浩之著 東洋経済新報社 1980
318.7 Y19
- 経済法資料集 1 法令編 2 資料編 宮坂富之助〔等〕
編 成文堂 1981 328.1 Mi 82
- 経済学に関する10年間の雑誌文献目録 昭和40年～昭和
49年 日外アソシエーツ「雑誌文献目録」編集部編 日
外アソシエーツ 1981 330.3 N71
- 経済原論 千種義人著 慶應通信 1981 331.01 C43
- 経済学入門 林直道著 青木書店 1981 331.01 H48
- ケインズ全集 9 説得論集 東洋経済新報社 1981
331.39 Ke 67
- 嵐のなかの世界経済 榊原胖夫, 安場保吉編 有斐閣
1981 332 Sa 31
- 図説日本経済 80年代の日本を考える 上條俊昭著 東
洋経済新報社 1980 332.1 Ka 37
- 東欧経済史 I. T. ベレンド, G. ラーンキ著 中央大
学出版部 1978 332.3 B38
- 近代世界システム 農業資本主義と「ヨーロッパ世界経
済」の成立 1, 2 I. ウォーラーステイン著 岩波
1981 332.3 W36
- エコノミック・チャレンジ 現代経済五つの危機 レス
ター・C. サロー, ロバート・L. ハイルブローナー著
ティビーエス・ブリタニカ 1981 332.53 Th 9
- 国際経済・貿易・国際収支に関する10年間の雑誌文献目
録 昭和40年～昭和49年 日外アソシエーツ雑誌文献目
録編集部編 日外アソシエーツ 1981 333.6 N71
- 競争と集中 経済・環境・科学 T. プラーガー著 法政
大学出版局 1981 333.9 P88
- ジャパニーズ・マネジメント 日本の経営に学ぶ リチャ
ード・T. バスカル, アンソニー・G. エイソス著 講談社
1981 335.02 P26
- 現代経営学選集 4 現代フランス経営学研究 佐々木
恒男著 文眞堂 1981 335.08 G34
- 公正取引研究資料 独禁法最新の理論と実務 長谷川古
佐野隆雄著 山崎書店 1981 335.27 H36
- ワークブック中小企業論 質問と解答 佐藤芳雄編 有
斐閣 1981 335.3 Sa 85
- これからのミドル・マネジメント 新しい管理職の時代
田崎醇之助, 吉川栄一編 有斐閣 1981 335.94 Ta 99
- 財務管理論 細井卓著 中央経済社 1981 335.96 H94
- 現代世界のインフレーション 国際シンポジウム 現代
インフレ研究会編 有斐閣 1981 337.9 G34
- 金融・証券講座 1～5 貝塚啓明〔等〕編 東洋経済
新報社 1981 338.08 Ki 48
- 日本証券史資料 戦後編 1 日本証券経済研究所編
(同編者) 1981 338.14 N77
- 銀行の消え去る日 金融革命のゆくえ 松田拓著 日本
工業新聞社 1981 338.5 Ma 74
- 財政会計辞典 吉国一郎, 吉国二郎編 新版 学陽書房
1973 340.3 Z1
- 要約戦後財政金融政策史 大蔵省大臣官房調査企画課編
財経詳報社 1978 342.1 O57
- 財政・金融・為替の変動分析 相互波及のメカニズム
黒田東彦著 東洋経済 1981 343 Ku 72
- 国の倉庫番 国有財産を考える 山口健治著 金融財政

- 事情研究会 1981 348.3 Y24
- 統計入門 松下嘉米男著 岩波 1955 350.1 Ma 88
- 家族の社会学 山路勝彦著 世界思想社 1981 361.4 Y26
- 地域的情報メディアの実態 東京大学新聞研究所編 東
大出版会 1981 361.48 To 46
- 実践・MRP方式による生産管理システム システムの
考え方から設計・導入まで 日本電気情報処理製造装置
システム事業部編 日本能率協会 1982 509.6 N77
- 広告キャッチフレーズ 現代語のドラマ 北村日出夫
山路龍夫, 田吹日出碩著 有斐閣 1981 674.9 Ki 68
- 国際貿易論 世界市場の構造と動態 久保新一, 中川信
義編 有斐閣 1981 678.01 Ku 11
- 実践簿記論 1 基礎編 2 応用編 鬼木繁著 中央経
済社 1981 679.6 O66
- 税務会計 市川深編著 日本評論社 1976 679.8 I14

＝ 法 律 関 係 ＝

- 近代化の政治学 D. E. アプター著 未来社 1982
311.1 A59
- 官僚制の支配 組織の時代をどう生きるか 森博, 矢沢
修次郎編 有斐閣 1981 317.3 Mo 45
- 国際関係に関する雑誌文献目録 昭和40年～昭和49年
日外アソシエーツ雑誌文献目録編集部編 日外アソシエ
ーツ 1981 319.03 N71
- 非戦・永世中立論 憲法九条と防衛の問題 田畑忍著
法律文化社 1981 319.8 Ta 11
- 学説判例整理シリーズ 4 上下, 6, 7 三省堂 1981
4 上下, 条解民法 3, 4 高木多喜男編
6, 7, 条解刑法 2, 3 下村康正編 320.8 G16
- 法律学全集 28 会社法 鈴木竹雄, 竹内昭夫著 有斐
閣 1981 320.8 H89
- 川島武宜著作集 1 法社会学 7 所有権 岩波
1981～1982 320.8 Ka 97
- 基本判例双書 刑事訴訟法 渥美東洋著 同文館 1981
320.98 H29
- 井上茂教授還暦記念論文集 現代の法哲学 矢崎光圀
〔等〕編 有斐閣 1981 321.1 I57
- 現代韓国・台湾における法哲学 鈴木敬夫訳編 成文堂
1981 321.1 Su 96
- 法と社会の変動理論 P. ノネ, P. セルズニック著 岩
波 1981 321.4 N95
- 英米法の諸相 伊藤正己先生還暦記念論文集 田中英夫
著 東大出版会 1981 322.93 Ta 84
- ドイツ民主共和国法概説 上 山田晟著 東大出版会
1981 322.94 Y19
- 憲法社会学 上野裕久著 勁草書房 1981 323.4 U45
- イギリス憲法論 I. ジェニングス著 新版 有信堂
1981 323.63 J37
- 民法読本 1 総則・物権法 好美清光, 米倉明編 第
2版 有斐閣 1981 324.08 Mi 47
- 民法案内 3-1, 3-2, 4-1, 5-1 全訂第1
版 6～10 新版 我妻栄著 コンメンタール刊行会
1969～1981 324.08 Mi 47
- 3-1, 2 物権法 上下 幾代通補訂
4-1 担保物権法 上 川井健補訂
5-1 債権法総論 上 水本浩補訂
6～10 民法の道しるべ

- 324.08 W14
口述担保物権 公開民法講義 林良平〔等〕著 有斐閣
1981 324.3 H48
不法行為法の研究 加藤一郎著 有斐閣 1981
324.55 Ka 86
ヨーロッパ会社法案 ヨーロッパ共同体委員会編 商事
法務研究会 1980 325.2 E 85
考える手形・小切手法 倉沢康一郎〔等〕編著 弘文堂
1981 325.61 Ku 55
刑法読本 内藤謙, 内田文昭編 有斐閣 1981
326.01 N 29
井上正治博士還暦祝賀〔記念論文集〕 刑事法学の諸相
西山富夫, 井上祐司編 有斐閣 1981 326.04 I 57
判例刑事六法全書 昭和56年版 第一法規出版株式会社
編 同編者 1981 326.098 D18
判例刑法研究 8 特別刑法の罪 西原春夫〔等〕編
有斐閣 1981 326.098 H 29
ホーンブック犯罪学 菊田幸一著 北樹出版 1981
326.3 Ki 29
犯罪と社会 G. M. サイクス著 成文堂 1981
326.3 Sy 2
弁護士の上手な探し方・頼み方 自由国民社編 同編者
1981 327.14 J 55
吉川大二郎博士追悼論〔文〕集 下 手続法の理論と実
践 下 山木戸克己〔等〕編 法律文化社 1981
327.2 Ki 78
民事訴訟法研究 8 三ヶ月章著 有斐閣 1981
327.2 Mi 22
注解民事訴訟法 7 齊藤秀夫編著 第一法規 1981
327.2 Sa 25
民事執行法 三ヶ月章著 弘文堂 1981
327.3 Mi 22
民事執行法概説 中野貞一郎編 有斐閣 1981
327.3 N 39
民事執行法を学ぶ 新堂幸司, 竹下守夫編 有斐閣
327.3 Sh 62
民事執行法の基本構造 竹下守夫, 鈴木正裕編 西神田
編集室 1981 327.3 Ta 65
自衛権 横田喜三郎著 有斐閣 1981 329.122 Y 78
国際家族法入門 家族生活の国際化と法 石黒一憲著
有斐閣 1981 329.6 I 73
現代企業法入門 宇田一明〔等〕著 中央経済社 1981
335.4 U 26
法人税法概説 小松芳明著 改訂版 有斐閣 1980
345.3 Ko 61
国防軍事に関する27年間の雑誌文献目録 昭和23年～昭
和49年 日外アソシエーツ雑誌文献目録編集部編 日外
アソシエーツ 1981 390.3 N 71
医事訴訟と医師の責任 稲垣喬著 有斐閣 1981
498.12 I 52
- 13, マイコン物理 三島信彦著
14, 屈折率 山口重雄著
15, 物理と微積分 小出昭一郎著
420.8 B 97
寒地工学基礎論 東晃著 古今書院 1981
452.96 H 55
エンジニアのための計測技術 J. P. Holman 著 朝倉
書店 1981 501.22 H 61
構造力学早わかり 丸木橋と丸太小屋の話 海野哲夫著
彰国社 1972 501.34 U 77
エネルギーを考える 藤井清光, 武安義光著 日本放送
出版協会 1982 501.6 F 57
建設用語事典 建設用語研究会編 ぎょうせい 1981
510.3 Ke 51
土工学大系 21 都市環境論 伊藤滋〔等〕著 彰国
社 1982 510.8 D 81
コンクリート製品便覧 セメント協会 1981
511.7 C 86
北海道における耐候性鋼材裸使用の道路橋の設計及び施
工指針 北海道土木技術会鋼道路研究委員会編 同編者
1981 515.1 H 82
公常用語事典 友野理平著 第2版 オーム社 1981
519.5 Ko 24
街の再開発 近代的街づくりのすすめ 玉田弘毅編 有
斐閣 1981 519.8 Ta 76
ブルネッレスキ ルネサンス建築の開花 G. C. アルガ
ン著 鹿島出版会 1981 520.28 A 69
建築・NOTE 丸善 1981
伝統の合理主義 西澤文隆著
私の住居・論 林昌二著
520.4 Ke 41
ジョサイア・コンドル建築図面集 2 河東義之編 中
央公論美術出版 1981 520.8 C 86
建築構法 佐治泰次著 理工学社 1981
524.1 Sa 26
建築材料用教材 日本建築学会編 同編者 1981
524.2 N 77
現代建築防災工学 藤本盛久, 羽倉弘人編著 オーム社
1981 524.9 F 62
建築計画チェックリスト集・催し施設 多目的ホール・
公会堂・音楽ホール・会館・宴会場・劇場 彰国社編
同編者 1981 525.1 Ke 41
建築設計資料集 5 日本建築学会編 丸善 1982
525.108 Ke 41
防水工法事典 防水工法事典編集委員会編 産業調査会
1981 525.55 B 66
木造住宅 1 これからの住宅 日本住宅・木材技術セ
ンター編 丸善 1981 527.1 Mo 21
空調・衛生技術データブック 菱和調温工業株式会社編
森北出版 1981 528.3 R 97
マイクロコンピュータのプログラミング C. C. Foster
著 日刊工業新聞社 1981 549.9 F 41
レベル3 BASIC入門 稲葉吉弘〔等〕著 アスキー
出版 1981 549.9 I 51
MB-6890 LEVEL-3 Basic ゲームブック 井芹
昌信, 大津雅巳, 渡部信彦著 アスキー出版 1981
549.9 I 69
電子計算機のハードウェア入門 森宗正, 大石完一著
共立出版 1981 549.9 Mo 45
コンピュータ図形処理 長江貞彦著 共立出版 1981
549.9 N 13

＝工 学 関 係＝

- 基礎数学シリーズ 12 変分学入門 福原満洲雄 山中
健著 朝倉書店 1981 410.8 Ki 59
現代物理学者の生と哲学 マッハからインシュタイン
本多修郎著 未来社 1981 420.28 H 84
物理学 One Point 10～15 共立出版 1981
10, EとH, DとB 広瀬立成著
11, 干渉および干渉性 飼沼芳郎著
12, 相対性原理の視点 大槻義彦著


和雑誌購入バックナンバーのお知らせ(昭和57.6.1現在)

昭和56-57年度受入分

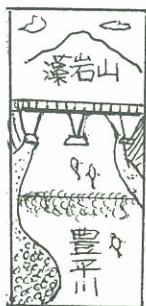
ケルン(朋文堂) 1-48:昭8-昭12
元老院日誌 明8-明18 三一書房復刻版
(全4冊)
会計(日本会計学会) 56-88:昭24-昭40
〔関西大学〕Anglica 1-29:昭25-昭43
復刻版
金融事項参考書(大蔵省理財局) 明26-明45
公正取引(公正取引協会)
1-267/278:昭25-昭48
公正取引委員会排除命令集(公正取引協会)
1-12:昭37-昭55
高等裁判所刑事判決特報
1-40, 索引1-40:昭25-昭32
高等裁判所裁判特報 1-5:昭29-昭30
京都大学経済論叢 1-98:大正4-昭41
三菱社誌(全40巻) うち1-39:明3-昭19
文部省報告 明6-明16
明治前期文部省刊行誌集成(10):歴史文献
文部省日誌 1-68:明5-明15
明治前期文部省刊行誌集成(1-5) 歴史文献
文部省雑誌 明6-明16
明治前期文部省刊行誌集成(6-10) 歴史文献
日本史研究(日本史研究会) 1-50:昭21-昭35
柏書房復刻版(全9冊)
日本統計学会会報 1949-1968年度:昭25-44
〔大蔵省〕調査月報 1-68(6):明44-昭54
思潮(岩波書店) 全21冊
1(1)-3(1):大正6-大正8
東北大学経済学会研究年報 経済学
1-26:昭22-40

〔東京大学〕経済学論集 1-8:大正11-昭4,
13-26:昭18-昭34
東京経済雑誌(経済雑誌社)
145-271:明16-明18

受贈図書及び雑誌

- ▶ 本学法学部教授 小山昇先生より
「法律時報」「北海道労働研究」他 雑誌30種類
(判例演習室備付)
- ▶ 元北海学園事務局長 故佐山英駿氏より
「法律学全集」「内村鑑三全集」「世界大思想全集」他1,000冊
- ▶ 北海道立図書館より
各都道府県の統計書「愛知県統計年鑑」
第1-8回:昭和27-34 他360冊
- ▶ 北洋相互銀行より
「エコノミスト」「バンキング」「金融財政事情」
他雑誌44種類
- ▶ 工藤雄二氏より
アメリカの公害関係の資料「Chemical Pollution」他500冊
- ▶  カナダ大使館より
カナダ関係の洋書「B. Tomlin, Canada's Foreign Policy.」「C. Campbell, Canadian Political Facts 1945-1976」等143冊
(貴重な資料を御寄贈いただきましてありがとうございました。)

編集後記



北海道の短い夏も最盛期を迎えました。
学生の皆さんも、アルバイトや楽しいバカンス等で、この夏を精一杯、エンジョイされていることと思いますが、この猛暑を防ぎ、ポスト夏休みに備えるための身近な方法を見逃してはおられませんか。
夏休み期間は長いものです。この期間を漫然と過すのは惜しいものです。そこで、もう一度、わが図書館を見直そうではありませんか。コンクリートの建物は、よく暑さをしのぎますし、夏休みの図書館は静かです。今季の目標を立て、閲覧室の机に向うと、それこそ、「身頭滅却すれば、心も涼し……」であります。夏休みの後に、定期試験があります。誰かが言いました。「今から頑張っておけば、全優、まちがいなし……?!」それは、真夏の夜の夢でしょうか?

北海学園大学附属図書館報「図書館だより」Vol. 4 No. 2 (通巻82号) 1982年7月1日発行
北海学園大学附属図書館発行 062 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 電話011-841-1161 (代表)
内線, 総務係272 整理係273 閲覧係274~275
工学部分室 064 札幌市中央区南26条西11丁目 電話011-561-2911 (内線)